

コード No. 18356

**Anti-Human
GRO α /MGSA (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

-
- はじめに : IL-8 ファミリーの GRO α /MGSA (Growth Related Oncogene/Melanoma Growth Stimulating Activity)は、アミノ酸配列で IL-8 と高い相同性があります。3D 構造解析においても IL-8 と類似する構造を持ち、ほぼ同レベルの白血球遊走能があると報告されています。また、活性単核細胞、線維芽細胞、上皮細胞および内皮細胞からの産生が報告されています。
- 免疫抗原 : Human GRO α /MGSA の C 端部分合成ペプチド
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 $^{\circ}$ C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 $^{\circ}$ C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5~10 μ g/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片、トリプシンによる前処理)
: ウェスタンブロッティング 2~5 μ g/mL にて使用可能
- 特異性 : Human GRO β , Human IL-8, Human IP-10, Rat GRO/CINC-1, -2 α , -2 β , -3 と非交差
- 参考文献 : Kanda Y. *et al.* GRO-alpha in human serum: differences related to age and sex. *Amer. J. of Reproductive Immunol.* 38 (1), 33-38, 1997.